

0.09

45 /

/50

3.70

○-1 乱さない試料 ⊙-2 貫入試験機による試料 ●-3 コアー試料

2. 試料採取深度と回収比 3.20-3.70は試料採取深度 (m) 45 は回収比 (50cm: 貫入深さ,

45㎝: 試料長さ)

町田市立本町田 調查件名 標高 東ル学校プール建設敷地地質調査 No.1. 昭和46年3月26日より 孔内水位 8.40 調查期間 昭和46年3月27日まで

コンシステンシ 観 準 貫 入 試 地 試料 験 深 色 柱 標 層 孔 標 内 10cm毎の 深 N 質 状 水 打擊回数 | N 值 度 値 厚 位 度 高 方 12 20 30 <u>0</u> cm cm cm 30 察 名 調 図 □ cm m m m m m m 中 ロームで群なび 30 江 至稠 砂泥へする z z盛土 В 1.40 -1.31 1.40 軟が 含水 中位. 2.00 3 30 上部でまで表工 3.00 7、植物根混入 5 30 2 3立 8 30 非 全体的に 5.00 教授賞を含む 30 1= zz6.00 30 茶褐 5.40 口一厶。 10(2.14) 6.80 7.00 28 128/12/16 -6.71 推 各水多く軟弱 である. 8,00 30 歌 **自重**沉下 全体的后 粘着強い. 9.00 33 3/3 /8 /9 /16 b(275) 軟分 粘土質 茶褐 TI-2 -9.41 2.70 9.50 含水中炷~大 軟幣 25 /25 /11 /15 (240) 10-松胜大 **ツ量の腐殖物混〉** -10.86 10.95 暗訂 粘土 1.45 4 2 30 ツ量の腐種物 混入する上部合木多く 位 12-ځ 2 30 下部上公人各水 13.00 30 少なくなる 坚 8 2 全体的に 沙量。使母混入 14.00 30 1 10 4 3 暗灰 粘土 14.45 3.50 -14.36 各水少 15.00 15-全体的厂 9 3 3 30 唐植物混入 処々に同り及び 30 11 3 3 5 超的多一步的模式 -18.71 16.80 茶尺 那是10-4 235 特别 49 10 11 30 全长少. (51.7) 50/ 129 15 19 z9 全体的!= 而小混り 良く嫌っている 19.00 (75.0) 固秸粘工 青灰 120 18 32 20 19.20 19-19.11 2.40 20-22-23-24 25 26 27 28 29 30-

地貝性扒凶

町田市立本町田 調查件名

東小学校プール建設敷地地質調査

0.07 No.2. 標高

⊙-2 貫入試験機による試料 ●-3 コアー試料 2. 試料採取深度と回収比

3.20

○-1 乱さない試料

45 /

3.20-3.70は試料採取深度 (m) 45 は回収比 (500m: 貫入深さ, 45cm: 試料長さ)

孔内水位

8.00M

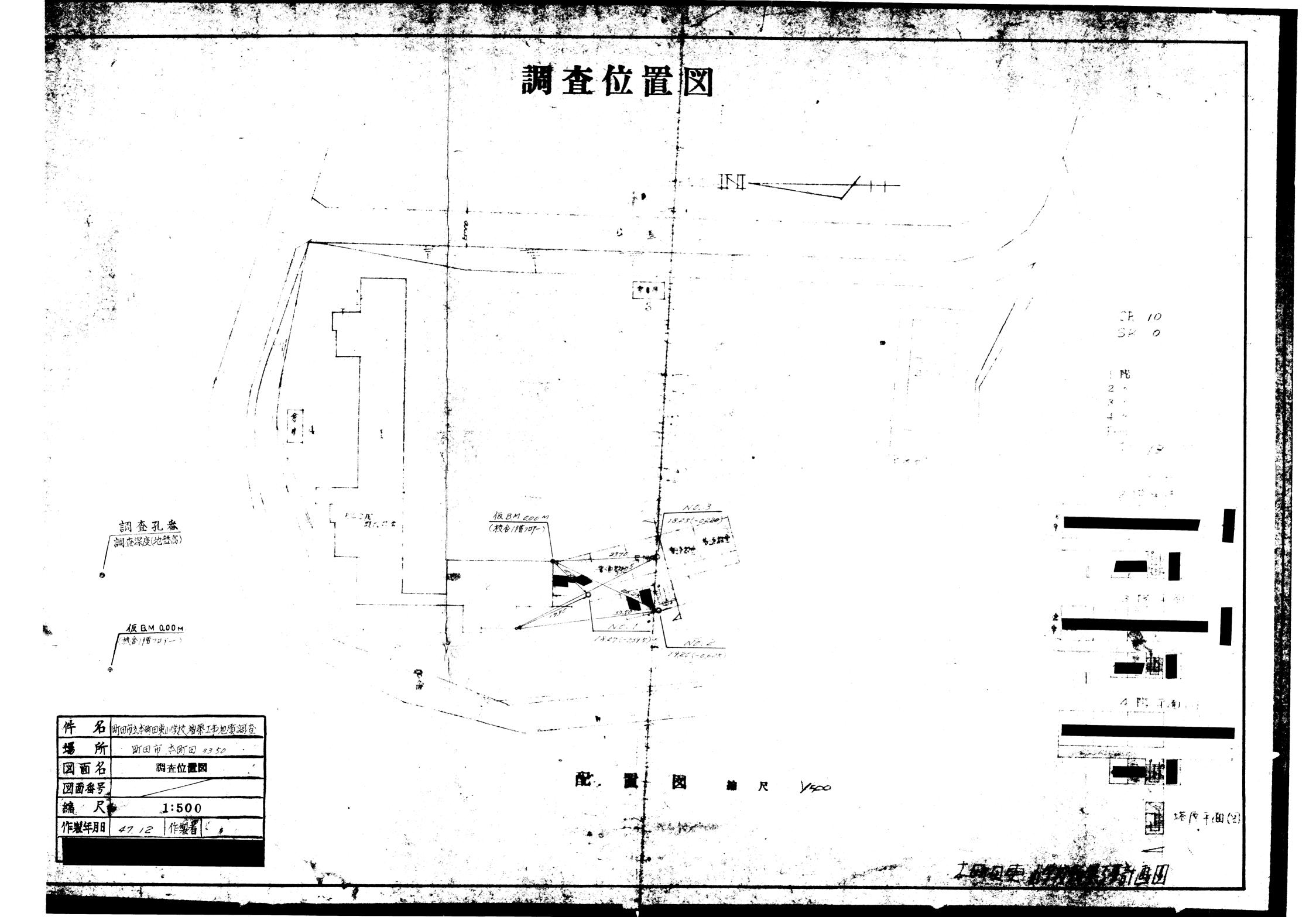
調查期間

昭和46年3月29日より 昭和46年3月30日まで

3.70 観 色 地 コンシステンシ 準 貫 入 試 験 深 柱 試料 標 層 孔 内 質 10cm毎の 深 状 N 水 打擊回数 N 值 取 位 度 度 厚 値 尺 高 方 12 20 30 0 cm cm cm 40 50 名 図 調 m m m 茶 楬 盛 土 ローム・辟角生 0.45 0.45 -0.38 各水川. 30 2 少量の粗砂混入 処々固緒して 30 2 暗灰 ローム -2.38 2.90 245 3. 30 含木竹. 少量の雲母混/ 2 2 全体的に砂質を 拉 含む 30 5 ツ量の腐植物混り 青灰 -5.53 5.60 2.70 粘土 粘着有り. 含水竹. 層植物及び 15 3 '30 · 少量の砂混入する -7.93 8.00 2.40 暗华汉 ローム V. 9.00 シルト質の石りて 11 34 30 含水ツなく 固結部分有少. 10.00 拉 4 30 全体的に 要母及び層植物 24 3 12 9 30 混入する 11.00円即到近上门 12.00 30 % 10 244 松上及び神町 13.00 30 シルト質 の互形状に 7 2 3 2 なっている。 形厂 暗灰 -13.88 13.95 5.95 30 12 3 4 5 上部 岛水中位 14.60 时近时 30 48 14 15 19 非 谷水川なく 締っている. (53.6) /28 下部和时时的 (179.0) 501 历厂 -17.12 17.19 青灰 3.24 20 22-23-25 26 28 29 30-

●-3 コアー試料 町田市立本町田 調查件名 0.057 2. 試料採取深度と回収比 <u> No. 3</u> 標高 東小学校プール建設敷地地質調查 3.20-3.70は試料採取深度 (m) 13.201 45 は回収比 (50cm: 貫入深さ, 45 / 孔内水位 820 M 昭和が年4月/日より /50 50 45om: 試料長さ) 調查期間 昭和46年4月1日まで 3.70 深 柱 地 観 色 標 孔 準 貫 入 試 験 試料 ンシステンシー 内 質 深 水位 10cm毎の 状 N 採 採取 打擊回数 N 値 取 度 厚 高 度 値 方 調 名 図 12 20 30 0 m 30 (D) cm m 創量中位 118 100 30 12 3 4 盛 茶物包 土 解的口心的盛土 1.45 145 1.40 200 30 上部腊灰色所植物 H 12 きたかする教土 3.00 30 3.70 个食水量多亡 4.00 30 軟 比較的軟物全体的 八村首任し 36 36 136 15 10 11 (250) 府相物有十知少量! 6 30 混り 新物色 挟t. 粉質口一人 12 700 茶粉包 -7.45 7.50 6.05 30 2 320 合水中位 8.00 暗灰色 然田 石サ 8.50 確認 枯土を合む 30 11 3 -8.45 800 分K量中~小 9 6 2 30 2 细矿全体的1:步量 10.00 10-82 3 冷t 情畅知程为 包 暗筝乐 籽 260 -11.05 11.10 30 28 5 11 今中世里到对找! 暗灰包 中性 御 石サ -11.55 11.60 0.50 12.00 倉水量 中任 30 10 4 3 3 柳时全体约1:含计 1300 عی 2 30 久の備植物を混る 1400 暗茶灰 D - 4 -14.45 14.50 2,90 食水量りなく ٥ 30 28 11 9 ·Δ 下部牌外第2.0 1600 50, 24 24 16 22 50 000 肺拳灰 研想 相 历 -16.65 16.70 (62.5) 2.20 30 31 10 10 中間と固括粘土 18.00 砂質部分稀水的 青灰 -18.25 18.30 1.60 中的 30 23 22-23-25-30-

⊙-2 貫入試験機による試料



(注) 1. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は 試料番号)

〇一1 乱さない試料

⊙-2 貫入試験機による試料

●-3 コアー試料

2. 試料採取深度と回収比

標高 - 0.3957 調查件名町田市立本町田東川学校港等工事、地質調查 NO. [3.20] 3.20-3.70は試料採取深度(m) 45 は回収比 (500m:貫入深さ, 昭和47年12月21日より 調查期間 7.50 孔内水位 45cm: 試料長さ) 昭和47年12月27日まで 孔 入 試 料 準 貫 試 験 標 標 深 柱 色 覾 地 内 採取 採 N 10cm毎の N 値 状 質 水 厚 度 高 打擊回数 尺 値 度 深度 位 12|20|30|0 40 50 10 名 m m m $\Box cm$ ロームに依る 軟非 0.707 取かくなる. ル307 財流より で > 破くなる。 2/32/14/18 n' 1 1.00 Q(1.87) 褐色 盛'土 -1.995 1.60 1.60 7/34/9/8/4/8 2.00 粘質 "かなくもろい 2-6(353) 34 合木中位は自色及び素褐色の カ 4 2/8/6/6 30 黄褐 秀石根入方3. -3.895 3.50 ローム 1.90 4.00 軟 4-4 粘質の強い色調 力 黄灰 5.00 の変化はサレリ 30 4 灰色 粘土である -6.195 5.80 2.30 粘土 6 粘土質である H 7.00 622 7.50 V 了 全体的后 8.00 30 唐植物、民入 3 比較的かたり、 9.00 13 445 30 9.00 附近より 細かを挟む 30 344 11.15~11.60の前 细则万を挟む 30 青灰 各水大 固緒にして居り 12 4/89 30 唐植物金泽时后 13.00 位 根入する. 13 暗灰 シルト 2 30 -13.795 13.40 7.60 非堅 アリ 凝灰質のために 14.00 14-30 t311. 凝灰質 501 18 下部町月あり 15.00 灰色 15-粘土 116 -15.595 15.20 1.80 (93.7) 京 1600 50/ 27 23 18 77 00.0 群至20~30 ~~ 附碟 -16.645 16.25 16-暗灰 (155.6). 町万も多く挟む 17.00 堅别 17-倉水の多りかりた 40 13 N値が落ちる。 18.00 50/ 暗灰 (15.6) 18-127 11 20 -18.665 18.27 2.02 19-20-21

NO. 2

昭和47年12月27日より

調查件名町田市立本町田東川学校増築工事地質調査

調查期間

標高 - 0.625

(注) 1. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は

〇一1 乱さない試料

⊙-2 貫入試験機による試料

2. 試料採取深度と回収比

●-3 コアー試料

3.20-3.70は試料採取深度(m) 45 は回収比 (50cm:貫入深さ, 45㎝:試料長さ)

孔内水位 ___ 7.40 昭和47年/2月28日まで 試 料 準 貫 入 験 標 試 孔 標 柱 色 深 層 内 採取深度m 10cm毎の 打撃回数 N 値 状 質 水 度 高 尺 値 度 位 12|20|30|0 10 20 30 40 50| 名 図 調 m m m $\Box cm$ 京 1.00 ツ量の腐植物 処なに 2/15/15 30 1111 3.00 盛土 -4.125 3.50 ロームに依る 3.50 4/31/8 Q(387) 3/ "「重のお腔有" 4/32 5.00 ツ量の磨植物根 \$ (3.75) 各水中/江. 6.00 举楊 軽石混入する 'SO 1 位 -8.575 7.95 4.45 ツ量の磨植物 粮入 処々に同り月挟む 00 各水中位. 12 F部即分多く含む. 13-暗灰 3/Wt -14.425 13.80 5.85 14.00 粘土慣合む、 14-10 3 4 3 里灰 **念**木中注 . 30 30 44 和印 暗灰 -16.125 15.50 1.70 変量 18.00 50/26 10 18 群至よ~30~ 2000 暗仄 -18.775 16.15 0.65 16-(37.7) ガリ 17.00 50/ 16 22/0 井) 23 16 22/0 17-(65.2) 灰な1=ツーカア月秋む 501 18.00 120 22 28 (75.0) 18-20 金体的一 50/ 硬人良(稀って113 11 1900 暗青灰 即慎泥岩 (75.0) 19-19.825 19.20 3.05 20-22 23 24 26 27. 28 29 30

昭和47年/2月26日より

標高 - 0.220

調查件名町田市立本町田東川岸校護工事址質調查 NO. 3

(注) 1. 試料採取方法の記号(記号の右の数字は 試料番号)

〇一1 乱さない試料

3.20

45/

⊙-2 貫入試験機による試料

●-3 コアー試料

2. 試料採取深度と回収比 3.20-3.70は試料採取深度(m)

45 は回収比 (50㎝:貫入深さ,

孔内水位 7.60 調查期間 /50 45cm: 試料長さ) 昭和47年12月27日まで 料 入 試 験 試 標 準 貫 孔 観 柱 色 深 層 地 標 標 内 採 ステン 10cm毎の N 深 N 値 状 **飯深度** 質 水 打擊回数 高 度 厚 取 尺 度 値 方 位 10 20 30 40 12|20|30|0 名 察 図 調 m m m $\Box cm$ m m 群.口一么混入 理工の样 1= 思かれる 褐色 表土 0.80 0.80 -1.020 非 30 17 5 这位物 Gres 6 第分固括状に マ硬リ 7 2.00 21 2-暗灰 各水川 少量の層植物 位い 浮石根入する 褐色 -4.020 3.80 ローム 3.00 ځ٠ 30 粘性カヤン強い 層植物混入する 2 沙 2 30 暗訳 卷二 1.90 5.70 -5.920 6 3 9 30 10 3 7.00 12 3 45 7.60 **V** 水中位. 14 4 ځ 8 30 9.00 \$ 2 14 4 腐植物根入 10.00 30 12 4 4 4 10 34 10 3 00 堅 12.00 12 2 30 小量の細かりも 暗灰 13.00 13 3 ુ 挟芯. 10 3 3 14-501 暗取 3/11 15.00 -15.220 15.00 9.30 密华 (57.7) 000 上部 神洲多川。 合木竹 16.00 至10~30~ かた (75.0) 20 30 /20 16 確仄 -16.620 1640 1.40 処々り量の細別疾む・ (F) 17.00 (X四) 17.00 18 50/ 14 32 14 暗青灰 (107.1) 堅别 17-全体的に 11 = 20 50/ 18.10 电裂多11 (300.0) 115 市和 30 18--18470 18.25 1.85 19-20-21 22 23 25-26-28-29 30